

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ジェイ ヘアメイク美容専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	美容師科	夜・通信	900 単位時間	160 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→実務経験のある教員等による授業担当課目一覧《省令で定める単位数等の基準数相当分》
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ジェイ ヘアメイク美容専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→中村学園について → 2-4. 学園理事・役員
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社FMG 代表取締役 社長	2022年5月31日～ 2025年5月30日	学識経験による
非常勤	古谷乳業株式会社 代表取締役 社長	2022年5月31日～ 2025年5月30日	学識経験による
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ジェイ ヘアメイク美容専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>■シラバスの作成・・・授業概要、到達目標、成績評価の方法と基準を記載し、毎年4月にホームページにて公表する。</p> <p>■教務室会議・・・授業改善アンケートやカリキュラム作成における議論を行い、課目担当へシラバスの作成を依頼する。</p> <p>■教育課程編成委員会の設置・・・カリキュラムや授業内容、授業改善アンケートなどを討議している。</p> <p>■講師会議の実施・・・年2回の講師会議を実施し、カリキュラムや授業内容の意見交換等を実施している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p><a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a></p> <p>学校ホームページ→情報公開→教育→シラバス美容師科1年</p> <p>学校ホームページ→情報公開→教育→シラバス美容師科2年</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>年2回授業改善アンケートをすべての科目において実施し、授業担当教員へ共有し、意見交換や改善に取り組んでいる。</p> <p>■定期試験を年2回実施している。</p> <p>■成績評価基準や方法はシラバスに記載している。</p> <p>■学修成果として必修で校内技術コンテストを開催、また任意で学外の技術コンテストへも参加。</p> <p>■進級・卒業判定会議を実施し、成績評価や学内ルールの確認を行い認定している。</p>	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>■成績評価に係る取組・・・教務にて意見交換を行い、校長、副校長、教務室長にて決定する。その後講師会議にて講師へ共有している。教育課程編成委員会にも報告し意見交換を行っている。</p> <p>■成績評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の学期毎（前期・後期）に行う。</li> <li>・①出席率、②定期試験や小テスト、③平常点（提出物・作品等の制作物・授業参加意欲など）などに基づいて総合的に行う。</li> <li>・5段階評価（S評価～D評価）により行う。</li> </ul> <p>■GPA 評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価 S～D の5段階評価を1ポイント～5ポイントに置き換え、単位時間数をポイントに置き換え換算している。また、情報公開を行っている。</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p><a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a>                  学校ホームページ→情報公開→教育→6-3. 進級・卒業の要件                  （成績評価評価方法含む）</p>
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

規定するすべての課目（2010 時間）を履修した学生を卒業とする。  
 また進級については1年次すべての課目（1020 時間）を履修すること。  
 当校の定める成績と厚生労働省の定める美容師養成施設の卒業要件を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、副校長、教務主任などによる判定会議において決定する。

卒業の認定に関する  
 方針の公表方法

<https://aie-jhm.jp/jhm-information/>  
 学校ホームページ→情報公開→教育→6-3. 進級・卒業の要件  
 (成績評価評価方法含む)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ジェイ ヘアメイク美容専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況
財産目録	<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況
事業報告書	<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況
監事による監査報告（書）	<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開→学園の財務状況

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間	510 単位時間	210 単位時間	1290 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		150人	0人	8人	10人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育課程編成委員会の設置し、カリキュラムや授業内容、授業改善アンケートなどを討議している。また、講師会議を年2回実施し、カリキュラムや授業内容の意見交換等を実施している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価は、出席率、定期試験、平常点（提出物・作品等の制作物・授業参加意欲）に基づいて総合的に行います。評価基準はS評価～D評価の5段階により行います。定期試験の点数基準は教科課目のシラバスにて表記する。各学期毎（前期・後期）に成績評価を行う。

卒業・進級の認定基準
(概要) 規定するすべての課目(2010時間)を履修した学生を卒業とする。 また進級については1年次すべての課目(1020時間)を履修すること。 当校の定める成績と厚生労働省の定める美容師養成施設の卒業要件を満たしていると判断できるものに卒業の認定を授与する。また、年2回の定期試験を実施するとともに進級時、卒業時に校長、副校長、教務室長などによる判定会議において決定する。
学修支援等
(概要) 特待生制度、個別面談、一人暮らし応援制度、カウンセラー

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
72人 (100%)	0人 (0%)	72人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) celilo(美容室)・TELA HAIR(美容室)・LIPPS(美容室)・VISAGE(美容室)・hair do(美容室)・Wiz(美容室)・aL-ter(美容室)・EYELA(アイロン)・Heilee brow(アイロン)・SOCIE(アイロン)			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、就職セミナー、個別面談、履歴書添削、模擬面接など			
(主な学修成果(資格・検定等)) 美容師国家資格、CAAメイク検定、JABSまつ毛エクステンションJapaneseBasic、ビューティビジネス実務検定、TCカラーセラピスト、文部科学省後援 色彩検定 他			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
148人	6人	4.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由・進路変更・家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) カウンセラーの配置・担任制・個人面談・保護者会		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容師科1年 ヘアスタイリスト専攻	150,000円	650,000円	705,000円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000円 行事費 20,000円 実習費・諸費用 170,000円 教科書・教材・検定等 275,000円
美容師科1年 ヘアメイク専攻 ヘアメイク&メイク検定	150,000円	650,000円	705,000円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000円 行事費 20,000円 実習費・諸費用 170,000円 教科書・教材・検定等 275,000円
美容師科1年 ヘアメイク専攻 まつエク&メイク検定	150,000円	650,000円	720,000円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000円 行事費 20,000円 実習費・諸費用 170,000円 教科書・教材・検定等 290,000円
美容師科1年 ヘアメイク専攻 まつエク アイデザイナー	150,000円	650,000円	720,000円	<その他費用の内訳> 施設費 240,000円 行事費 20,000円 実習費・諸費用 170,000円 教科書・教材・検定等 290,000円
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→「情報公開」→自己評価→自己点検・評価表 但し、当校では当年6月下旬に自己評価を実施、7月下旬に学校関係者評価委員会を実施することとしており、学校評価の対象年度は前年度となる。現在公開中の自己評価結果及び学校関係者評価は2022年度評価となる。2023年度評価について、自己評価結果および学校関係者評価は8月上旬完成予定。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 日本美容師連盟	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	業界団体
有限会社 JAGARA 代表取締役 (日本美容師連盟会長)	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
株式会社イストマネージメントオフィス	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員
株式会社トーコン	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	企業等委員



千葉経済大学附属高等学校	2023年4月1日～ 2025年3月31日(2年)	学校関係
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
<a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→「情報公開」→自己評価→自己点検・評価表 但し、当校では当年6月下旬に自己評価を実施、7月下旬に学校関係者評価委員会を実施することとしており、学校評価の対象年度は前年度となる。現在公開中の自己評価結果及び学校関係者評価は2022年度評価となる。2023年度評価について、自己評価結果および学校関係者評価は8月上旬完成予定。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

## c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://aie-jhm.jp/jhm-information/">https://aie-jhm.jp/jhm-information/</a> 学校ホームページ→情報公開
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H112310000350
学校名 (〇〇大学 等)	ジェイ ヘアメイク美容専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 中村学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		25人	24人	25人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	12人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	-	-	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				25人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。） 及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-	-	-
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	-	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。